

土木学会四国支部「土木紀行」No. 64 (香川県)

～ 津田の松原 (琴林公園) ～



写真 1. 津田の松原の景観①

<概要>

津田の松原は、香川県東部のさぬき市津田町に広がり、瀬戸内海に面した約 1km にわたる砂浜と樹齢 600 年を超える黒松群約 3000 本が植生する約 10ha (東京ドーム約 2 個分) の区域です (写真 1, 2 参照)¹⁾. サラサラとした白い砂浜と波穏やかな青い海, そして緑の松原が対比する景観は, まさにさぬき市を代表する風雅な景勝地であり, 日本の渚百選や白砂青松百選に選ばれています. 老松の中には, 天然記念物にも指定されるような名松が数多く存在していましたが, 近年, 松くい虫の影響により, 松枯れを起こし, 次第にその姿を消しつつあります.

<主な歴史>

江戸時代後期の享和元年 (1801), 豪商であった津田村の安藝栄柱がその子, 栄尚を京都の儒者・皆川淇園のもとへ訪ねさせ, 「津田の松原」の絶景を全国に宣伝して欲しいと依頼しました. そのやりとりが淇園撰文に記述されており, それを後年, 石碑に刻み松原内に建立し, 「琴林碑」として現存しています (写真 3 参照). その琴林碑によると, 琴林公園という名称は, 松林の中を吹き抜ける風音があたかも琴を奏でているような音に聞こえたことに由来しているそうです. 大正 4 年 (1915) 「琴林公園」の名で県立公園に, 昭和 31 年 (1956) には, 瀬戸内海国立公園にも指定されました. この広大な白い砂浜と老松群は, 映画全盛時代のロケーションに格好の場で, 多くの名優と共にスクリーンに登場しています. また, 文化, 芸術の著名人もこの地を訪れ, シルクロードの絵で有名な日本画家・平山郁夫もこの松原の風景を描いています. また, 20 世紀の美術を代表する世界的巨匠の一人である版画家・棟方志功は「世界一の松, 四国で一番素晴らしいところだ」と称賛しました²⁾.

そもそも, なぜ何千本にも及ぶ黒松群ができたのだろうか?

その歴史は, 鎌倉時代にまで遡ります. 当時, この浜辺の側にあった石清水八幡宮別当寺常薬寺 (津田小学校の位置) の住僧が, 燃料用または防風林として植林されたのが始まりだと言われています.



写真 2. 津田の松原の景観②



写真 3. 琴林碑



写真 4. 恵比須の松



写真 5. 願い橋叶え橋

<見所>

隠れん坊ができそうな大きな幹，地表より力強く隆起した根は，生命力が溢れ，神が宿っていても不思議ではない存在感があります。その老松の中には「恵比須の松」，「大黒天の松」，「毘沙門天の松」，「弁財天の松」，「福祿寿の松」，「寿老人の松」，「布袋尊の松」と呼ばれる「七福神の松」があります（写真 4 参照）。これらの老松を探しながら，松原の中をひと回りすると約 500m はあると言われる「七福神の松巡り」はお勧めです。また，松原の中を流れる梅川にかかる朱塗りの橋は，二つの名前を持つ橋で，「願い橋叶え橋」と呼ばれています（写真 5 参照）。何でも，往路は願い橋で，復路は叶え橋と名を変え，願い事をしながら橋を渡り，叶え橋を戻ってくるとその願いが叶うと言われています。極めて眉唾な話ですが，遊び半分に信じてみるのも一興ではないでしょうか？

松原を抜けた先にある海水浴場は，香川県で最多の遊泳客を集める大規模海水浴場です（写真 6 参照）。夏には海水浴はもちろん，ビーチバレーフェスティバルや花火大会（夏祭り）などで賑わいます。波の静かな瀬戸内海はサーフィンには不向きですが，ウィンドサーフィンは年中楽しめます。冬の海岸では風を受けて走るウィンドサーフィンの帆が多く見られ，2 月には凧揚げ大会などのイベントもあります。

一方，隅々まで綺麗に整備されている松原は，「八八松甞会」と呼ばれるボランティア団体の皆さんや地元の方々など，多くの方々の協力があつてこそだということを忘れてはいけません³⁾。香川県民はうどんなも清掃もセルフが大好きです。皆さんもお立ち寄りの際は，5 分ばかり松原の清掃をしてみませんか（写真 7 参照）？



写真 6. 津田の松原海水浴場



写真 7. 熊手

『参考文献』

- 1) 香川県さぬき市役所：<http://www.city.sanuki.kagawa.jp/index.php>（2011.10.23 取得）
- 2) つだネット：<http://www.tsuda.net/>（2011.10.23 取得）
- 3) 香川県庁：<http://www.pref.kagawa.lg.jp/>（2011.10.23 取得）